

# ワンデイインプラント 2019新春 ジャーナル

1日で美しい笑顔が手に入る  
高度歯科医療「ワンデイインプラント」の情報誌

2019年の干支：猪は何頭いるでしょう？



## 「飲み込みにくさ」を感じていませんか？

食べるという行為は、頭で考えなくてもできますね。嚙む、喉に押しやる、息を吸って、止めて、飲み込んで、息を吐く。一口食べるたびに、反射的にこれだけの複雑な運動を行っています。そのため、年齢を重ねると、反射や筋肉の衰えから、飲み込みにくくなる場合があります。

飲み込みがうまくいかない、食べ物や唾液が肺に入り、肺炎を起こす原因となります。肺炎は日本

人の死因第3位で、しかも高齢になるに従って増える傾向にある恐ろしい病気です。日頃から、飲み込む機能を鍛えておくといいですね。

そこで、「藤島式嚙下体操」をご紹介します。食前にすることで、首や肩の緊張を和らげ、頬や舌の動きをスムーズにすることができます。これらの運動は、インプラント治療後のリハビリにも通じますので、気がついたときにぜひ行ってみてください。

### 「藤島式嚙下体操」 食べる前の準備体操

毎食前1セット実施(1~2分)

意義/頸部の緊張をとり  
嚙下をスムーズにする



## 歯磨きでインフルエンザ予防

インフルエンザ予防の定番は、「うがい」「手洗い」「マスク」でしたが、最近では、うがいは効果がない、という意見があります。気道に入ったウイルスが体内に取り込まれるのは、わずか数分の間のことです。それを予防するには、外出先でたびたびうがいをしなければならず、非現実的だから、という理由がそうです。

うがいには効果がなくても、歯磨きにはインフル

エンザの予防効果があります。口腔内の細菌には、ウイルスを粘膜に侵入しやすくしたり、増殖を助けたりする酵素を出すものがあるためです。

このほかの予防法には、

- ・栄養と睡眠をとる
- ・50〜60%の湿度を保つ
- ・人ごみへの外出を控える
- ・予防接種を受ける

などがあります。今冬を健康に過ごせるよう、ちょっと心がけてみましょう。

## ワンデイインプラント®が歯のない人の標準治療

歯を失った後の治療法として、よく比較されるのが、インプラントとブリッジと入れ歯の3つです。この中で、歯科医師の間で標準治療と認識されているのは、インプラントです。

標準治療とは、国立がん研究センターの用語集によると次のように説明されています。

『標準治療とは、科学的根拠に基づいた観点で、現在利用できる最良の治療であることが示され、ある状態の一般的な患者さんに行われることが推奨される治療をいいます。』

一方、推奨される治療という意味ではなく、一般的に広く行われている治療という意味で「標準治療」という言葉が使われることもあるので、どちらの意味で使われているか注意する必要があります。』

インプラント治療は、この説明で言うところの前者に当たります。科学的根拠に基づいた現在利用できる最良の治療です。だからこそ、私たち歯科医師は推奨しているのです。

用語集にはさらに続きがあります。

『なお、医療において、「最先端の治療」が最も優れているとは限りません。最先

端の治療は、開発中の試験的な治療として、その効果や副作用などを調べる臨床試験で評価され、それまでの標準治療より優れていることが証明され推奨されれば、その治療が新たな「標準治療」となります。』

すべての歯を失ったら、かつては総入れ歯が当たり前でした。しかし50年程前に、近代インプラント治療が開発され、大掛かりな手術と長い治療期間が必要だが、固定式の歯という選択肢ができました。さらに技術が進み、約20年前に、手術当日にきれいな固定式の歯になる「ワンデイインプラント®」が登場しました。治療の時間や期間を大幅に短縮し、長期に渡って快適に過ごせる画期的な治療法です。

先日日本口腔インプラント学会の学術大会で、九州歯科大学の細川隆司教授が次のように発表しました。「九州歯科大学付属病院では、無歯顎の患者(歯を全て失った人)に対しては、少数のインプラントを骨移植なしに埋入し、即時荷重をかける治療術式を標準治療と位置づけ、ほぼ全ての症例に適用してきた」。

今では歯のない人の「標準治療」は、総入れ歯に替わってワンデイインプラント®なのです。一般的にもそう認識されるよう、私たちは活動を続けていきたいと思えます。

Dr. ナカヒラの本 インターネットで好評発売中!!

- 1 「患者が語るワンデイインプラント」(関ネコ・パブリッシング 1,143円+税)
- 2 「その日から噛める Dr. ナカヒラのワンデイインプラント」(關生活情報センター 1,238円+税)
- 3 「1日でキレイな歯が入る Dr. ナカヒラのワンデイインプラント」(関ネコ・パブリッシング 1,238円+税)
- 4 改訂版「50歳からの歯から若返る生き方」(関幻冬舎メディアコンサルティング 1,200円+税)

ホームページもぜひ見てね。  
ホームページ <http://www.tg-ic.com/>

東京銀座歯科  
東京銀座インプラントセンター  
〒104-0061 東京都中央区銀座1-7-6 銀座河合ビル8F  
TEL.03-3562-7877 www.tg-ic.com/





口腔外科の重鎮 朝波教授と  
中平によるインプラント対談



朝波教授

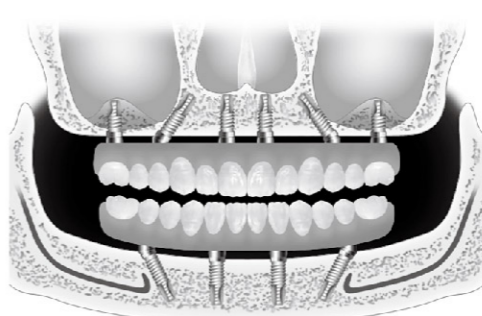
中平

東京歯科大学卒業。国際医療福祉大学客員教授。日本口腔外科学会認定指導医・口腔外科専門医・監事。日本顎顔面インプラント学会理事。日本小児口腔外科学会理事。日本有痛者歯科医療学会理事。バイオインテグレーション学会常任理事。

朝波惣一郎教授

に固定すると、下顎が合わせやすくなります。  
**朝波**…プロビはラボ（技工所）の人が来て、作ってるんですか？  
**中平**…いえ、僕たちのスタッフの技工士さんを作ります。仮歯ですけど、早くともきれいに作ってくれます。  
**朝波**…中平先生のところはそういう技術力の高いチームができていて、チームで取り組むからできるんですね。一日で上下とも固定式の歯になるんだから、驚きの治療ですよ。  
**中平**…ええ、治療にかかる時間や期間は短いですが、効果の面では永く使い続けてもらっています。  
**朝波**…審美的にも本当に素晴らしいと思いますよ。年を取ると、鼻の下や頬にハリがなくなるんです。でもワンデイインプラント®を見ると、ハリが出て10歳くらい若返って見える。アンチエイジングですね。  
**中平**…歯を失うと、歯を支える歯槽骨もなくなりませんからね。ワンデイインプラント®では、その歯槽骨の部分まで補綴（人工歯肉）で補います。ワンデイインプラント®の面白いところは、義歯（入れ歯）とインプラントを合体させたような治療だということです。  
**朝波**…そうですね。インプラントをアンカー（錨）にしていますよね。  
**中平**…特に義歯を長年使っていた人の顎骨は、吸収が進んで薄く痩せているから、たくさんインプラントを埋めることはできません。4本〜6本のインプラントを埋めるのが物理的にも理にかなっているんです。

慶応義塾大学病院で長年口腔外科のリーダーとして牽引されてきた朝波惣一郎教授は、著書が歯学部教科書に使われる歯科界のトップリーダーです。このたび中平と、あご全体のインプラント治療「ワンデイインプラント®」について語って頂きました。



ワンデイインプラント®

ほとんどまたは全ての歯を失った人に、4〜6本のインプラントを埋めてあご全体の人工歯を固定する治療。

「ワンデイインプラント®は発想の転換」

**朝波**…中平先生のされているワンデイインプラント®はすごい治療ですね。骨が薄い人にもできるんですから。  
**中平**…そうですね、あご全体の治療が必要な人に、「まず骨移植の手術をして、それからインプラントをします」なんて、大変過ぎます。大掛かりな骨移植手術をしないで、インプラント治療ができないかと考えました。

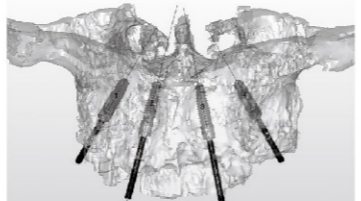
インプラント治療の将来にCT

**朝波**…インプラントの成功率も随分高いですね。今はコンピュータなどのデジタル機器も応用されていますから。  
**中平**…ええ、僕も歯科用CTを導入しています。CTの分析ソフトで埋入シミュレーションをしていますが、大変役に立っています。

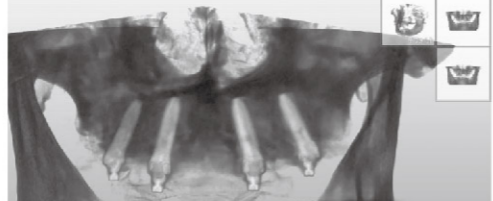
**朝波**…中平先生はサージカルガイド（※1）を使っているの？

**中平**…いえ、僕は使っていないですね。サージカルガイドやフラップレス（※2）が、正確で低侵襲（体に負担が少ない治療）だと謳う先生もいるようですが、僕はどちらもしていません。やはり、歯肉を開いて骨の状態を自分の目で確かめて、きれいに整骨してから埋入するのが、何より正確で失敗のない方法ですから。

**朝波**…僕も同感です。解剖学的に、どこにインプラントを埋めるのが良いかということは、最終的に目で確かめないと本当のことはわかりません。骨を見る、ということが大事ですよ。  
**中平**…ええ、新しい技術や製品に頼り過ぎると、トラブルになりかねない。まずは切開から縫合まで、きちんと基礎の技術を身に付



患者K様のCTを使った埋入シミュレーション。コンピュータ上での治療計画の画像。



同じくK様の、手術直後に撮影したCT画像。4本のインプラントが、上顎にシンメトリーでバランスよく埋入できたことが確認できる。

患者にメリットの大きい治療法

**朝波**…しかも上下同時に手術ができるからね。まあ、片顎だけならなんとかできる先生もいるけれども、上下同時にできるのは中平先生くらいですよ。手術はどちらの顎から始めるの？

**中平**…上顎です。まず上顎にインプラントを埋めて型取りをします。そこで一旦小休止を取って、その間にプロビ（仮歯）を作ってもらいます。下顎の埋入手術が終わるまでには上顎のプロビが完成している、という手順です。

**朝波**…なるほど、まず上顎の位置をしっかりと固定させるんですね？うん、確かにそれがいい手順ですね。  
**中平**…ええ、上顎を頭骸に対する基準の位置

けて、さらに多くの症例を積み重ねなければいけません。一番大事なのは最新の機械じゃなく、高い技術力と圧倒的な実績です。  
**朝波**…今はまだワンデイインプラント®のような治療は、どこの歯科医院でも受けられるというものではないけれども、こういう治療ができる歯科医師をこれから育てていかなければいけませんね。

**中平**…ええ、本当に患者さんにとって素晴らしい治療法ですからね。一般の人にも知ってほしいし、ドクターにも技術を身につけてほしいと思います。だから僕の症例集を作って、知っている先生方に見ていただいて「一緒にこういう治療をしましょう」と呼びかけているんです。  
**朝波**…いいことだと思います。ワンデイインプラント®は、標準治療ですからね。多くの歯科医院でできるようになって、もっと大勢の人を救えるようになると思いますね。

**中平**…インプラント治療の後、本当にお元気が僕のものになりました。先生、人生100年時代ですから、お互いまだまだ頑張りましょう！

※1サージカルガイドはインプラントを計画通りに埋入するために作られる、穴の開いたマウスピース状のもの。CTから患者の顎骨の3次元画像をコンピュータ上に作り、インプラントの埋入位置をシミュレーションして、ドリルの着地点と角度を導くように作られる。術者はこのサージカルガイドを患者の口の中に固定し、穴に合わせてドリルを使うことで、予定通りの埋入ができる。  
※2フラップレスは歯肉を切開せず、歯肉に穴を開けてそこからドリルで骨を削ってインプラントを埋入する手術方法。